

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 464

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サンダリー	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



今年も九月五日〜七日の二泊三日で越後湯沢に行ってきました。写真は六月にオープンした上越市の水族館「みかたり」でイルカのショーを見たときのものです。水がかかると準備万端です。

旅行

あさやけ作業所

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

役割をもってさらなる飛躍へ

野村 大樹さん
(あさやけ鷹の台作業所)



「最初はあまりしゃべれずは
ずかしかったけれど、だんだん
慣れて気づいたら」高校から
入所して四年目になりました。
作業所に通い始め「先輩が仕事
を教えてくれ気が楽になった」
時から、今では後輩のKさん
に「おーい。仕事はじまるぞ」
と声をかけています。

ダイレクトメールの封入や
ラベル貼りが主な仕事ですが
先日はトラックで納品する際
の助手も行いました。一緒に
働くなかまについて聞くと
「やっぱり作業が速くミスがな
い。自分もあなりたい。み
んなの輪に入りたいと思う気
持ちはあるけれど…」と言
いますが、休み時間にはメンバ
ーとリラックスして楽しそうに
過ごしています。

プロ野球観戦が趣味で今年
も西武ドームに四回行ってき
ました。家ではお風呂掃除、食
器片付けの家事もあってな
かないそがしくしています。自

分自身で考える長所は「まあ、
怒らないことですかね」。体調
と鷹の台作業所での仕事を大
事にしたいと思っていますの
ことです。

普段の作業だけでは集団に
埋もれてしまっているのでは
ないか、と野村さんについて
職員間で話されているところ
です。少人数の活動で役割を
持つと自主的に動けることも
分かってきました。朝会・終
会の司会進行もテンポよく進
められています。

杉並区のバスケットボール
チームに所属して知的障害の
ある人たちのスペシャルオリ
ンピック出場を目指すアス
リートでもあります。彼にポー
ルを渡してみれば新しい展開
も開けてくるのでは。これか
らに期待しています。

記念集会の終了に際してのときわ会の決意

----- 閉会あいさつ -----

常務理事 田邊 敏郎

今日の記念集会の終了に当たり、ひとことお礼と今後のときわ会の活動についてのご支援のお願いをしたいと思います。会場に来るまでは、40年といっても、邯鄲の夢ではありませんが、あつという間だったと思っていました。しかし、会場でいろいろ思い起こすと、40年とは、やはり、長い期間だったのだなと、つくづくそう思いました。

その40年を振り返る、ときわ会としての観点あるいは基準は、2つあります。第一番目は、ときわ会の設立母体である「小平市障害者の権利を守り、生活の向上をめざす会」の設立の理念と趣旨に照らして、どれだけ努力してきたかということです。実現の度合いではなくて、みずからの力を、目標に対してどれだけ注いできたかということであり

ます。
この点は、何はともあれ、障害の種別・程度の枠を乗り越えるべく全力を尽くしてきた、労働と生活の拠点づくりに頑張ってきた、というのが、とりあえずの、自画自讃であります。

また、第二の振り返りの課題は、1991年に策定した、ときわ会の将来構想に照らして、忘れていないか、新たな課題は何かと点検することです。この点は、当時の将来構想は、量的には追求できたものの質的な発展、新たな課題に対する挑戦という点で、現在、中・長期計画素案を地域の皆さんにお示しする準備中です。今日までできればよかったんですが…。その基本的な方向性については、本日のパンフレットで触れておりますので、ご参照下さればと思います。

次に、次の10年、20年についてめざすものということですが、労働と生活の場において、利用者を中心に、基本的な人権感覚をどれだけ磨いて行くことができるかということが大切だと思っています。

この40年の中で、エポックメーキングとなったのは、2005年から開始された「福祉分野への民間活力の導入」をめぐる動向でした。この流れの最終的な出口が、本年度でほぼ確定された、社会福祉法人改革という名の、福祉再編の動きです。

私たちは、この流れの中で、まずは、次の10年、そして20年を、いままでと同じように、労働と生活を軸に権利の運動とともに、実践によって応えていこうと思います。

たぶん、ここにこそ、私たちのすすめてきた権利要求と政策実現の実践の結合の強みがあると思うからです。

さらに、私たちは、これからのときわ会を展望する際に、従来同様、利用者、家族の皆さん、職員、行政の関係者、地域の福祉の関係者の皆様とともに考え合い、ともに事業を進めさせて頂きたいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

40年が経過したとはいえ、私たちは、相変わらずの若輩であります。若輩のまま、ここまで来られたこと、皆様のご支援のおかげです。

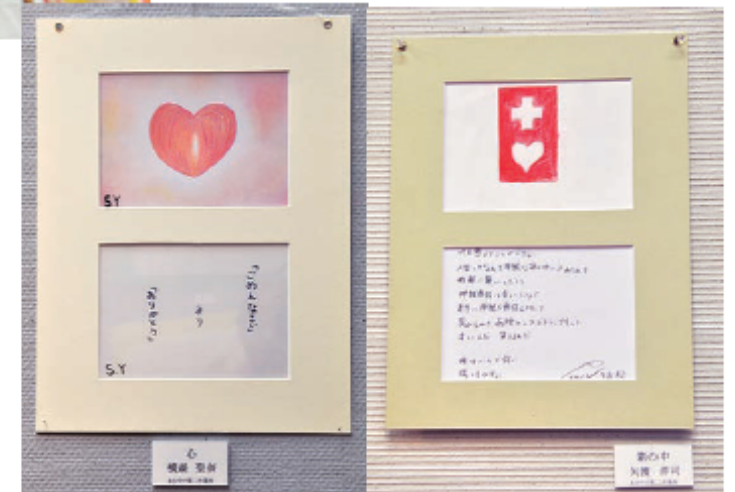
今後とも、新たな地域貢献を目指して奮闘して参りますので、暖かいご尽力を心からお願い申し上げます。

本日は、ご参集、ありがとうございました。



あさやけアートフェスティバル 2018

アートフェスティバルも5回目を迎えました。今年も200点を超える作品と、500名を超える方のご来場をいただき、「素晴らしい取り組みなので、ずっと続けてほしい。」という感想を多数いただきました。今年は新しい試みとして、作品の販売を行いました。展示されている作品の販売ではなく、販売用の作品を制作しました。まだまだ改善点は多いですが、今後これが普段の創作活動のモチベーションにつながるとういなど考えています。



第37回あさやけサマースクールのご報告

○はじめに

あさやけ作業所では今年度も7月30日(月)から8月3日(金)の5日間、地域の社会資源として作業所を開放し、障がいのある中学生、高校生を対象にサマースクールの取り組みを行いました。今年度は26名(昨年度は21名)の参加となりました。

特別支援学校・特別支援学級の先生方、ボランティアの方々、介護体験実習の学生と一っしょに普段あさやけ作業所でおこなっている仕事体験やレクリエーションなどをして楽しい時間を過ごしました。

○仕事体験

仕事体験は紙すき班、下請け班、縫製班、製菓班の4グループに分かれて行いました。紙すき班は水に溶かしたパルプを大きな水槽からすきあげて紙にする作業を行い、下請け班はダイレクトメール、シール貼りの作業、縫製班では台所用ふきんづくり、製菓班ではシフォンケーキづくりを行いました。紙すき班でつくったうちわ、縫製班のフキン、製菓班のシフォンケーキは参加者全員に記念品としてお渡ししました。

○創作活動

今年も武蔵野美術大学の学生さんが実習として11名参加しました。2班に分かれて創作活動を企画し、生徒さんと楽しみながら一っしょに創り上げていく形式でおこなってくれました。

○川遊び・バーベキュー

毎年お世話になっている飯能名栗川のキャンプ場に行ってきました。バーベキューでお肉や野菜や焼きそばをおなかいっぱい食べ、川に入り遊びました。暑い中、川の水の冷たさはとても心地よかったです。川遊びの後はスイカを食べ、みんな大満足で帰ってきました。

○太鼓

今年は小平第二中学校さんに場所と太鼓を提供していただき、おこないました。特別支援学級の音楽室の中で講師の先生にご指導をいただきながらいろいろなリズムや他の人と合わせて叩いたり楽しく行う事ができました。

○ポッチャ

昨年好評だったため今年もおこないました。小平市社会福祉協議会の職員さんが講師としていらして下さり、体験を行いました。中には初めてポッチャをやったという人も多くおり、「こんなに楽しいとは知らなかった。またやりたい」という声も多く聞かれました。

○参加者の声

- サマースクールとっても楽しかった。また来年も参加したいです!(参加生徒)
- 生徒さんたちの意思を一度優しく受け止めるという姿勢がサマースクールの良い所で、種やかにのびのびと雰囲気をつくり出しているのだなと感じました。(学生)
- 生徒が家庭や学校以外の人と関わることや仕事体験、レク活動ができることはすばらしいと思いました。ラーメン体操、エビカニクスは皆さん本当に楽しそうでしたね。(教員)



40周年記念集会

7月13日～7月17日、ときわ会創立40周年記念事業として、記念集会「コレカラ」、そしてアートフェスティバル「100人100色 このゆびとまれ」、映画上映「夜明け前 ～呉秀三と無名の精神障害者の100年」が開催され述べ1,100人を超える方々の参加を頂きました。

記念集会では利用者・家族をはじめ、行政関係者、議会、関係団体、地域の方々、ボランティアの方等350名余の方々の参加を頂きました。ご多忙の中誠にありがとうございました。集会では、歌や踊り、発表、映像なども含めて今の仲間の思いや姿、これからの夢・希望が伝わったのではないのでしょうか。そして「わたしたちのめざすもの2016年」ではときわ会の事業の到達点、そして今後の目指す方向を確認できました。来賓の方々からは温かい励ましの言葉を頂き、今後の大きな励ましとなりました。参加していただいた方々からは「全員参加の舞台に感動した」「利用者の心からの声を聴くことができた」「共に生きていきたいという思いを新たにしたい」「とても楽しい時間だった」等など感激・感動したとの声をたくさん頂きました。

次の50周年の節目さらにその先を見据えて、より地域に依拠し、歴史に学び、利用者の願いに応じていけるよう共同の事業として頑張っていきたいと思っております。

※各会場に置かれた西日本豪雨災害募金箱には、38,865円の募金が寄せられました。募金は、日本赤十字社の「日赤平成30年7月豪雨災害義援金」に送金しました。ご協力ありがとうございました。



夜明け前上映報告

7月13日、社会福祉法人ときわ会40周年記念企画として「夜明け前 ～呉秀三と無名の精神障害者の100年」の上映会を行いました。午後の部(法人内部ご家族、利用者向け)60名、夜の部(外部向け)120名と多くの方にご参加いただきました。今井友樹監督トークショーでは映画製作の動機や実際に沖縄の座敷牢を見に行ったときの思い等、映画完成に至るまでの心境を謙虚に語る姿に心打たれた観客も多く、フロアからは活発な質問や感想が飛び交いました。涙ぐむご家族の姿もありました。



中込時点でも問合せが多く、映画への関心の高さを感じていましたが、終了後アンケートには100以上の感想が寄せられました。人間のあり方、社会のあり方を考えさせられる、観た方の心にいろんな形で突き刺さるテーマだと感じました。続編を期待する声もありました。12月9日に再びルネこだいらで上映を予定していますので、今回見られなかった方もぜひご参加ください。

私たちは障がいのある人たちが働き生活できる地域をめざしています

第14回2018

KODAIRA わいわいバザール

日時：10月7日(日) 11:00~15:00
10月8日(月・祝) 10:00~14:00

場所：都立小平特別支援学校
(西武国分寺線・拝島線) 小川駅 西口より徒歩5分
車でのご来場はできません

KODAIRA わいわいバザール実行委員会 (あさやけ第二作業所)
TEL:042-345-1564 〒187-0032 小平市小川町2-1159
主催：NAGATA わいわいバザール実行委員会 後援：小平市・小平市社会福祉協議会
協賛：小平をつなぐ会の会・小平発達障害児者父母の会

※小平特別支援学校へのお問い合わせはできません

廃品回収のお知らせ

7月の廃品回収の回収量は13,485kgでした。内訳は新聞9,710kg、雑誌・ダンボール3,775kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて215,305円でした。

次回は10月20日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。